

第七期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（原案）に係る
パブリックコメントの結果について

【意見募集結果】

案名	第七期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（原案）		
募集期間	平成30年1月16日（火）～平成30年2月14日（水）		
意見の件数 （意見提出者数）	12件（1人）		
意見の取り扱い	修正	案を修正するもの	2件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	3件
	参考	今後の参考とするもの	4件
	その他	意見として伺ったもの	3件
意見の受け取り	持参		0人
	郵送		0人
	ファクス		0人
	電子メール		1人

【意見等の内容】

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
第2章第2節 一連の努力にも関わらず、「がん」死亡率が全国よりも高いことについて、次期への大きな課題として捉えるべきである。	1	【既記載】 がんを含めた疾病予防や早期発見・早期治療に加え重症化を予防するよう周知・啓発に努めてきましたが、現状としては「がん」死亡率が全国よりも高い状況となっており、対処すべき課題として認識しているところです。
第2章第3節 「介護予防自主サークル」にはそれなりの効果が見られるものと感じている。 これを更にきめ細かく地道に継続運用していかなくてはならない。 具体的には、自主運営であるため、更にバックアップする体制が必要である。	1	【参考】 介護予防事業は、引き続き自主的な介護予防活動継続していくための支援を進めてまいります。具体的な取り組みは、第4章の施策の推進の各具体的施策に基づき、自主活動グループへ講師派遣するなど運営支援を行ってまいります。

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>第2章第6節 第1層協議体で論議して始まった「ちょっとした支え合いサポーター」養成が着実な進捗を見せている。</p> <p>養成したこの大きな戦力「ちょっとした支え合いサポーター」に対してもっと見える形とやりがいが見える励みを与えたい。</p> <p>具体的には、サポーターが自主的に張り切って活動実践できる仕組みづくりを明確に打ち出し、更に定期的なサポーター連絡会議を開催する必要がある。それを通じて一人ひとりのスキルアップを図りたい。</p>	1	<p>【修正】</p> <p>「ちょっとした支え合いサポーター」については、地域で支える仕組みづくりを取り組む上での担い手となりますことから、「ちょっとした支え合いサポーター登録者を活躍の場へつなげていくこと」について、第4章第5節地域で支える仕組みづくりの具体的施策2生活支援体制整備の項に追記します。</p>
<p>第4章第1節 老人クラブの衰退減少に歯止めが利かない。「サロン」や「介護予防自主サークル」への参加が難しくなっていることについて大きな課題と認識している。</p> <p>問題点を把握しながらも、なかなか決め方が無い事については理解する。</p>	1	<p>【その他】</p> <p>老人クラブの減少については、価値観や生活様式が多様化している高齢者のニーズに合った社会参加を促進するための仕組みづくりが課題と捉えており、より多くの高齢者が主体的に社会参加できるよう支援を進めてまいります。</p>
<p>第4章第2節 上記の通り「サロン」や「介護予防自主サークル」の存在をもっと、再評価した行政の取り組みが必要である。第7期は、この部分の存在抜きには介護支援予備軍の健康維持が出来ないと考えるため、ちょっとした支え合いサポーターとの連動を検討すべき。</p>	1	<p>【参考】</p> <p>介護予防事業は、引き続き自主的な介護予防活動を継続していくため、ちょっとした支え合いサポーターとも連携し、支援を進めてまいります。</p>
<p>第4章第3節 単独運営の「通所型サービス事業」が大きな曲がり角に来ている。採算悪化の実態から廃業するケースも見られ、この事態を第7期ではどの様に考え、対応するのか。廃業により、あぶれた利用者対策をどの様に考えるのか。</p>	1	<p>【その他】</p> <p>事業所の廃止等による影響につきましては、利用者の不利益にならないよう、ケアマネジャーや介護サービス事業所等と連携して対応を図ります。</p> <p>介護サービスを必要とされる方が介護サービスを適切に受けられることができる介護保険制度を持続していくため、今後も適正な運用を図ってまいります。</p>
<p>第4章第5節 高齢者の一方がご逝去されると独居世帯になる。次に空家問題が直ぐに大きな課題となる。健康うちに、現在居住の住宅を預託して老後の生活資金化を図る制度がもっともっと広く告知されることにより、地域ぐるみで助け合いが出来る環境を整えていただきたい。</p>	1	<p>【既記載】</p> <p>高齢者の住まいに関する相談や空き家等の情報提供などは、空家等対策計画も踏まえて取り組みを進めてまいります。</p> <p>【その他】</p> <p>住宅を預託する制度については、意見として伺います。</p>

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>第5章 第7期計画では介護保険料が上昇している。今後の介護保険料が10円でも減少出来るよう、「ちょっとしたサポーター養成」を図り、その輪を拡大させていくことが必要です。</p>	1	<p>【参考】 今後も高齢者人口の増加が見込まれることから、介護保険事業費用の増加に伴い介護保険料が増加することが考えられます。 市民同士が支え合う互助の取り組みをはじめ、介護保険事業費用の適正化や減少に努めてまいります。</p>
<p>民間企業各社が、様々な形で「ちょっとしたサービス」事業を展開していて、それを随時、「サイボウズ」で取り上げて紹介をしている。 こうした民間が取り組んでいる事を紹介して、それが企業収益にも反映して、益々大きく広がっていくことが必要である。</p>	1	<p>【参考】 高齢者の生活を支えるため、地域の様々なサービス等の資源の把握・資源開発を進め、それら生活支援の取り組みに関する情報を市民や関係者へ迅速に提供を行ってまいります。</p>
<p>第7期原案に具体的な取り組みで「ちょっとした支え合いサポーター」の語句が見当たらないのは大変残念であります。 大きな労力を使って取り組んできた成果なので、きちんとした明文化を期待致します。</p>	1	<p>【修正】 「ちょっとした支え合いサポーター」については、地域で支える仕組みづくりを取り組む上での担い手となりますことから、「ちょっとした支え合いサポーター養成講座」について、第4章第5節地域で支える仕組みづくりの具体的施策2生活支援体制整備の項に追記します。</p>
<p>高齢者バス無料制度の継続施策の実施に関して私は、大変有効に活用させていただいている。 確実におおきな成果を挙げていることは厳然たる事実であり、帯広市及びバス会社様には日々の努力に心から感謝している。更に利用し易くなり、今後も継続されることを望みます。</p>	1	<p>【既記載】 高齢者の積極的な社会参加、道路交通の安全確保及び環境負荷の低減を促すため、高齢者の公共交通機関による外出支援を進めてまいります。</p>